

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月3日(土)

会場 日立北高等学校体育館

【男子の部】 第2日目 Eコート 第3試合

チームA 北海道大麻	72	{ 15 1Q 26 25 2Q 14 14 3Q 7 18 4Q 13 OT	60	チームB 県立中部工業
北海道				沖縄

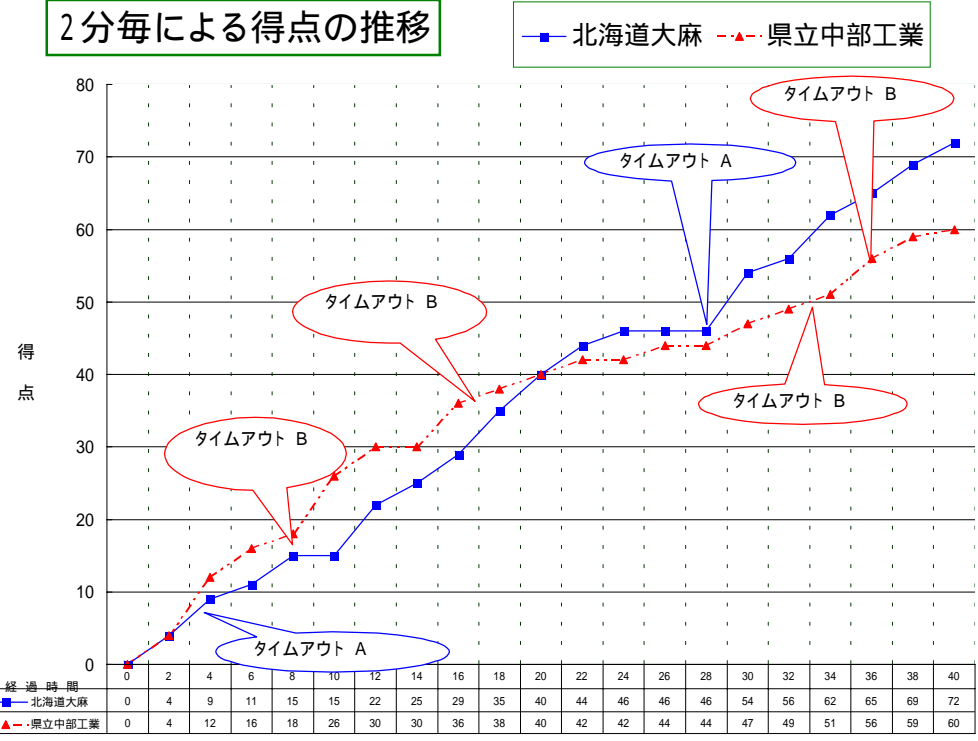
北海道大麻

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	山田 寛	8	1	1	1	4	3	6	2	3	6	1	0	3	1	40
5	中川 明	17	1	1	7	14	0	0	0	1	4	4	2	2	0	39
6	細川 豪															DNP
7	宮川 拓也	13	1	2	3	7	4	8	4	2	2	4	1	0	0	33
8	大榎 馨平															DNP
9	三鍋 健太															DNP
10	向 淳希	12	0	0	5	10	2	2	1	1	4	5	1	2	0	37
11	風間 俊亮	19	0	0	9	16	1	5	1	0	14	3	0	1	0	40
12	伊藤 堯紀	3	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	9
13	斉藤 隼平															DNP
14	坂上 慶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	鈴木 豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
コーチ	長野 雅男															
		72	4	5	25	52	10	21	9	7	30	18	4	8	1	200
		確率	80.0%		48.1%		47.6%				計	37				

県立中部工業

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	友利 健哉	11	1	8	2	6	4	0	1	0	3	2	3	2	0	37
5	仲宗根鳴俊															DNP
6	大濱 卓	3	0	0	1	3	1	2	4	0	4	0	0	1	0	34
7	伊計 郁也	5	1	1	1	2	0	0	3	1	1	2	0	0	0	12
8	徳門 豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
9	長嶺 義晃	2	0	2	1	1	0	0	2	0	4	1	1	1	0	15
10	横田 祐樹	16	0	0	7	13	2	6	3	4	7	0	2	0	1	27
11	花城 大輔															DNP
12	玉城 孝太	4	0	2	2	4	0	0	0	2	3	1	1	0	0	19
13	仲宗根峻也	4	0	1	2	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	16
14	若宮 一友	15	2	10	4	7	1	2	4	2	3	1	0	2	1	36
15	玉城全次郎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
コーチ	安里 幸男															
		60	4	25	20	39	8	10	17	9	25	10	7	8	2	200
		確率	16.0%		51.3%		80.0%				計	34				

2分毎による得点の推移



戦評

最北端と最南端チームの対決。マンツーマンの大麻に対し、マンツーマンとゾーンを使い分け、巧みに大麻を乱そうとする中部工。第1P、高さでは劣る中部工であるが、素早い攻めと守りで大麻のミス誘いを、#4友利を起点に#13仲宗根、#14若宮が得点を重ね、26-15と中部工リードで第2Pへ。

変則なディフェンスに慣れてきた大麻は、ガード陣の3Pや#11風間の3連続得点で流れをつかむ。大麻は、守っても高さを活かしリバウンドを完全に支配し、第2P終了時には40-40の同点とし、ゲームを振り出しに戻す。

第3Pに入り、お互いミスが目立つものの、大麻は確実にリバウンドを#4山田、#7宮川らが取り、単発になった中部工との差を少しずつ広げて54-47と大麻がリードする。

第4Pに入り、懸命に追い上げを見せる中部工は#4友利、#7伊計などが積極的に仕掛ける。しかし大麻はあせらず、#5中川らが着実に得点をし、72-60と大麻が3回戦へ駒を進めた。敗れた中部工も低身長ながらも堂々とした戦い振りで、好感の持てる素晴らしいチームであった。

主審 久保裕紀

副審 黒川浩

記入者 川崎秀典